



2022 年度

SDGS

活動報告

「わたしたちができる、未来へのお手伝い」



環境に配慮したモノづくり



12 (つくる責任、つかう責任)



13 (気候変動に具体的な対策を)



14 (海の豊かさを守ろう)



15 (陸の豊かさを守ろう)

に取り組んでいます

ペットボトルに換算すると…



500ml ペットボトル 約5,640 万本使用 (約1,400t) 500ml ペットボトル 約440 万本使用 (約110t)



(※2017年から2022年に使用分、500mlのペットボトルから25g再生として計算) リサイクル原料(再生ポリエステル樹脂)の現在の使用率は約50%

「グリーン調達」「グリーン購入」の実践として、リサイクル原料(再生ポリエステル樹脂)の活用を進めています。今後も「リサイクル原料」の使用率を上げていくことが目標です。

サンコーが未来へできること

株式会社サンコーは、昭和37年(1962年)の創業より、地場産業である家庭用品の製造販売をベースに様々な事業活動に取り組んでまいりました。時代の求める新しいニーズを常に追いかけながら、試行錯誤の末に生み出した商品は多くの皆様のご愛顧をいただいております。

事業活動の根底にあるのは、経営理念である「人の心に貯金する」、そして「三つの幸せ」。商品を買う人・売る人・作る人、サンコーに関わるすべての人の幸せを追求し、お客様に「感動」を与えられるモノづくりを行なうことが私たちの使命です。

近年では、2020年7月に表明した「サンコーグループ SDGs 宣言」に基づき、持続可能な社会づくりに向けた活動を強化。サンコーを生み、育てていただいた地域と共に発展していくため、様々な活動に取り組んでいます。

この度、2022年度の活動報告としてこのパンフレットを発刊いたしました。今後も地域社会の一員として、社会的責任を果たし、地域の発展に貢献するため、たゆまぬ努力を続ける所存です。

株式会社サンコー

モノづくり起点の価値創出



「サンコーは、これからも持続可能な開発目標(SDGs)を支援し続けていきます」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



重要文化財 杉本家住宅すず払い



2022年11月、京都女子大学との商品開発産学連携プロジェクトの一環として、築152年の重要文化財「杉本家住宅」(京都市下京区)のすず払いを行いました。自然素材で造られたデリケートな建物は、薬剤や洗剤、洗浄剤の使用が適さない部分が多くあります。そこで、弊社商品「びっくりフレッシュ®」シリーズを活用し、水だけで汚れやほこりを掃除するすず払いを実施しました。環境にも木造建築にも優しい商品開発に取り組んでいます。

海南市防災訓練に参加



2022年11月、2020年に海南市と締結した「災害支援等の協力に関する協定」に基づき、海南市防災訓練に参加しました。南海トラフ巨大地震による甚大な被害が予想される海南市に根ざした企業として、防災に対する意識を高める良い機会となりました。

海南市初の「えるぼし(3段階目)」認定



2022年5月、女性の活躍推進に関する状況が優良な企業として「えるぼし(3段階目)」に認定されました。弊社は「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多彩なキャリアコース」の5つの項目全てで基準値を満たし、和歌山県海南市では初めての認定となります。引き続き、世代や男女を問わず全ての従業員にとって働きやすい職場環境づくりを進めてまいります。

小中学生の産業学習に協力



和歌山県内の小中学生を対象に、地場産業学習の一環として会社見学の受入を行っています。毎年継続して実施しており、今年度は海南市立第三中学校、海南市立亀川中学校、和歌山県立桐蔭中学校の3校と、海南市主催の地場産業バスツアーの一環で海南市内の小学生と保護者に会社いただきました。見学会では地場産業である家庭用品産業の成り立ちやサンコーのモノづくりのこだわりについてお話をしています。和歌山の子供たちが地場産業に興味・関心を持つきっかけとなることを願っています。



2022年度 SDGs 活動報告

わたしたちの
取り組み内容を
ご紹介します。

2022.4 - 2023.3



「健康経営優良法人2022」認定



従業員の健康の保持・増進につながる取り組みを実践し健康経営を推進する企業として、経済産業省より「健康経営優良法人2022」に認定されました。従業員の心身の健康増進に向けた取組を行い、いきいきと働ける会社を目指します。

トルコ共和国災害義援金



2023年2月に発生したトルコ共和国東部における地震被害に対する災害義援金を寄付しました。同国での甚大な被害や、犠牲になられた方々へのご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

「学生に教えたいたい“働きがいのある企業”大賞」を受賞



2022年9月、大阪府経営合理化協会主催の「学生に教えたいたい“働きがいのある企業”大賞」の「特別賞」を受賞しました。同賞は「経営理念の浸透」「ビジネスの変革」「経営者のリーダーシップ」「働きがいのある職場づくり」の4点において先進的な経営の実践がなされていると認められた企業に贈られます。この受賞を糧として、今後も従業員の働きがいを追求した企業経営に努めます。

教育機関で出張講義を実施



進路学習や地場産業学習の一環で、海南市内、近畿圏内の学校で出張講義を毎年継続して実施しています。今年度は海南市立亀川中学校、海南市立海南下津高等学校、近畿大学にて登壇しました。講義では事業内容を紹介するほか、地場産業について、創業時より掲げる経営理念、働くうえでの考え方についてお話しています。和歌山や日本の将来を担う若者が、働くことについて考える端緒となることを願い、今後も継続して協力していきます。

社屋近隣の清掃活動



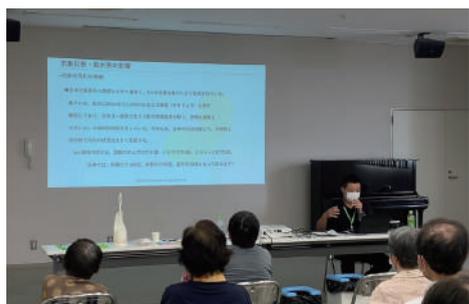
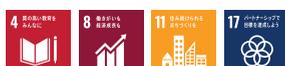
海南市阪井にある物流センターでは、毎月第1、第2金曜日の月2回、始業前の地域清掃を行っています。2017年から継続して行っている取組で、道路わきにポイ捨てされた空き缶やレジ袋などを拾っています。朝の挨拶など、近隣の方との交流の場にもなっています。

トイレ清掃活動



2023年3月より毎週火曜日、東京都江戸川区の「総合レクリエーション公園（フラワーガーデン）」にて清掃活動を実施しています。弊社の東京営業所が同公園前に位置しており、清掃用品を取り扱うメーカーとして、「公園を利用される方に気持ちよくトイレを使用していただきたい」との思いから活動実施に至りました。

海南市内で出前講座を展開



前年度から継続して、2022年7月に海南市の黒江公民館、2023年1月に海南 nobinos にて出前講座を開催しました。今年度は防災士資格を所有する社員が講師として登壇し、防災トイレの活用を中心に、防災や掃除に関する情報提供を行いました。講演を通じて地域の皆さまの生の声も聞くことができ、新しい商品づくりのヒントを得ることができました。

途上国への支援



途上国への支援として、着なくなった衣料の寄付や、消費期限が近くなった非常食を食料として輸送する「救島鳥プロジェクト」への協力を行なっています。

月刊「PHP」地域貢献活動



和歌山のより豊かな教育環境の醸成のため、2020年度から継続して、和歌山県内の高校、支援学校、海南海草地方と和歌山県内の一部の小中学校に月刊「PHP」を毎月届けています。

リサイクルに向けた取組



リサイクル活動啓発のため、社内にリサイクルコーナーを設置しています。ペットボトルのキャップや使い捨てコンタクトレンズの空ケース、インクカートリッジなどを集め、専門機関に寄付しています。

海南市内の小学校、図書館に読売 KODOMO 新聞を寄贈



2020年度から継続して、海南市内の小学校、図書館に「読売 KODOMO 新聞」を寄贈しています。子どもたちが新聞を通して学び、たくさんの方に興味を持つきっかけになることを願っています。

未来を担う方々を応援しています



和歌山県内の団体を中心に、スポーツ、芸術の未来を担う方々を協賛やサポーターという形で応援しています。実際に応援活動を行なっている団体をご紹介します。

【ポップアスリートカップ】

子供たちの「トップアスリートになる」という夢を現実に近づけるため、ポップアスリートの大会開催を広告や協賛で応援しています。



【アルテリヴォ和歌山】

関西リーグ1部に所属し、Jリーグ加盟を目指すアルテリヴォ和歌山の活動を多面的に支援し、チームの育成をサポートしています。

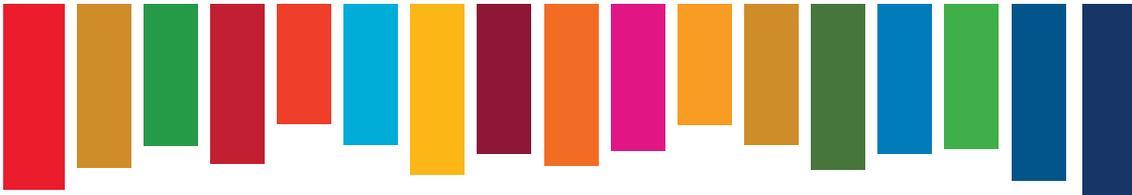


【和歌山県障害者スポーツ協会】

障害者スポーツ・レクリエーション活動の振興と障害者福祉の増進、及び障害者スポーツ競技力向上を目的とした活動をサポーターとして応援しています。

【りら創造芸術学園】

学校法人りら創造芸術学園の教育活動や教育環境整備の推進のために、運営の支援や行事をサポーターとして後援しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

サンコーグループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



〒642-0022 和歌山県海南市大野中 715
ホームページアドレス <https://sanko-gp.co.jp>
メールアドレス liv@sanko-gp.co.jp

